

※審議の参考としてご一読ください

上ノ原小学校 PTA 規約（改正の要点）

今年度のPTAは、「踏み出そう PTAの新しいカタチへ」を合言葉に、アプリを導入したボランティア・エントリー制の運営を行ってきました。運営の実態に合わせて規約を整える必要が生じたため、審議をお願いします。今回の規約改正には、次の3つのポイントがあります。

ポイント① 改革したPTA理念を「第4章 活動」に位置づけ

今年度より、PTAは、「子どもの笑顔のために”地域とともにある学校づくりを目指す”という理念を実現するため、①学校の教育活動を支援する、②子どもの安全・安心を守る、③地域で育つ子どもたちを支えるという3本柱を掲げて「できることをできるときに無理のない範囲で」活動するようになりました。規約においても、この変更点をきちんと明記し、これに加えて、自発的な活動を引き出すために④その他に創出型事業を位置づけました。会員からボランティアを募って主体的に活動していきますが、すべての活動は、会員相互の支え合いによって成り立つことを忘れないようにしていきたいと考えています。

ポイント② 本部役員に「ICT担当」を追加（第7章 本部役員）

PTAは、運営の効率化を促進するため、地元企業の協力によりアプリを導入しました。これにより、必要に応じて、随時、ボランティアを募集する方式で運営をすることが可能になりましたが、本部役員としてアプリの運営を管理し、有効活用できる人材が必要になりました。会員からのボランティアを募り、活動の情報発信を行うための重要な役回りになります。アプリは、地元企業がサポートしてくれるため、専門的な知識は必要ありませんが、少なくともパソコンが苦手ではない方に担っていただきたいと考えています。本部役員にICT担当を3名追加（1名は教職員）します。

ポイント③ 総会審議を「書面」に変更（第10章 総会）

これまでのPTAは、総会を一般的な対面形式で行ってきましたが、出席は本部役員やごく一部の関係者からしかなく、大半は委任状による一任で審議が決する状態が定常化していました。このように意見や質問が出ない想定で駆け抜けるように終わる形式的な総会は、あまり意味がありません。一方で、コロナ禍による臨時措置として実施した書面総会は、運営が効率的で楽な上に、議案ごとに会員からの意志表明と意見を集められる可能性が高いことがわかりました。よって総会審議は、書面にて行う方式を基本とし、必要に応じて対面での総会が開催できるようにしていきたいと考えています。

◎なお、当議案は、弁護士によるリーガルチェックを経て議案上程しています。担当は、大木 祐二 弁護士です。大木弁護士は、上ノ原小学校の卒業生（平成5年度卒）です。

大木祐二法律事務所 (<https://oki-lawoffice.com>)

上ノ原小学校 PTA 規約（改正案）

第1章 名称

第1条 本会は上ノ原小学校 PTA と称し、事務所を上ノ原小学校内に置く。

第2章 目的

第2条 本会は、保護者と教職員が協力して学校、家庭及び地域社会における児童のすこやかな成長を図ることを目的とし、主体的に活動する。

第3章 方針

第3条 本会は教育を本旨とする民主団体として、次の方針に従って活動する。

1. 特定の政党宗派にかたよることなく、また営利的な行為は一切行わない。
2. 本会または本会役員の名でどんな営利的企業をも支持しないし、また他のどんな職務（公私を問わず）の候補者をも推薦しない。
3. 本会は自主独立のものであって、他のどんな団体または機関の支配や干渉をも受けない。
4. 児童、青少年の福利増進のために活動する他の団体および機関と協力する。
5. 本会は学校の管理や人事に干渉しない。
6. この会の活動を推進するために必要とされる個人情報の取り扱いや利用、管理については、「個人情報取り扱いに関する細則」に定め、適正に運用するものとする。

第4章 活動

第4条 本会は、上記第2条の目的を達成するため、次の活動を行う。

1. 学校教育に対する理解と協力（学校の支援）
2. 児童の福利・厚生・安全環境の整備および、向上（見守り・安全）
3. 家庭、地域、学校の連携による教育活動の促進（地域とともにある学校づくり）
4. その他目的を達成するために必要な活動（創出型事業）

第5条 本会の活動は、原則として総会や常任委員会で協議された事項に基づき、会員からボランティアを募って主体的に活動する。すべての活動は、会員相互の支え合いによって成り立つ。

第5章 会員

第6条 本会の会員について、次のとおり定める。

1. 上ノ原小学校に在籍する児童の保護者および上ノ原小学校に勤務する教職員は、会員になる資格を有し、入会の意思表示と共に会員となる。
2. 会員は、在籍児童の卒業または第1項に定める会員資格を喪失することにより自動的に退会となる。
3. 会員は、いつでも本会を退会することができる。

第7条 会員は、総会で意思表示をする権利を有し、目的と方針に従い、会員相互の支え合いによる主体的なボランティアとして活動する。

第8条 会員は、総会の定めるところに従い、毎年会費を納めるものとする。但し、事情により減免することができる。

第6章 経理

第9条 本会の活動に要する経費は、会費、寄付金およびその他の収入によって支弁される。

第10条 本会の会費は、一家庭単位で納入する。(内容的に改正後8条に盛り込むのが適切。)

第11条 本会の経費は、すべて総会で認められた予算に基づいて行われる。

第12条 本会の経理は、会計監査を経て総会に報告されなければならない。

第13条 本会の会計年度は、4月1日から翌年3月31日までとする。

第7章 本部役員

第14条 本会の本部役員は、次のとおりとする。

会長 1名

副会長 4名以上(内1名副校長)

書記 4名以上(内1名教職員)

会計 4名以上(内1名教職員)

ICT担当 3名以上(内1名教職員)

第15条 本部役員の任期は、次のとおりとする。

1. 定期総会での承認を以て就任し、任期は当年度定期総会から次年度定期総会までとする。
2. 引継ぎ等を考慮し、活動開始は前年度3月からとする。
3. 会計の再任は不可とし、他の本部役員の再任は妨げない。

第16条 本部役員に欠員を生じたときは、常任委員会で選出し、任期は前任者の残任期間とする。

第17条 本部役員は、次の職務を行う。

1. 会長は、本会を代表し会務を総括する。総会、常任委員会等を招集する。
2. 副会長は、会長を補佐し、会長不在の時はその代理をつとめる。
3. 書記は、総会、常任委員会等の議事を記録、保管し、書類等を作成する。
4. 会計は、学校給食の監査、本会の金銭の出納を管理する。定期総会において会計監査の監査を経た決算報告をする。

第8章 会計監査員

第18条 本会の経理を監査するため3～4名(内1名は教職員)の会計監査員を置く。会計監査員は、前年度の会計がその任に当たる。

第19条 会計監査員の任期は、当年度定期総会から次年度定期総会までとする。

第20条 会計監査員は、決算の監査をすると共に、随時経理を監査することができる。

第9章 会議

第21条 本会の会議は次のとおりとする。

1. 総会

2. 常任委員会

3. 臨時委員会

第 22 条 本会は、必要により臨時委員会を置くことができる。その任務および構成は、常任委員会において定める。

第 23 条 総会を除く他の会議は、構成員の過半数の出席をもって成立し、議決は出席構成員の多数決による。

第 10 章 総会

第 24 条 総会は最高の議決機関であつて次のとおりとする。

1. 定期総会

・定期総会は毎年 1 回を定例とし会長が招集する。

2. 臨時総会

・臨時総会は、常任委員会が必要と認めたとき、または全会員の 5 分の 1 以上の要求があつたときに開催する。

第 25 条 総会の形式と成立要件、議事は次のとおりとする。

1. 形式

・総会審議は書面（電磁的記録媒体を含む）によるものとする。但し、会員の出席が必要と会長が認めたときは集会形式とする。

2. 成立要件

・総会は全会員の 2 分の 1 以上の表決書の提出または出席があつた場合に成立する。但し集会形式の場合は、委任状を認める。

3. 議事

・総会の議事は、表決書の提出者または出席者の過半数をもって決定し、賛否同数の時は議長が決定する。

4. 総会では次の事項を審議、決定する。

(1) 事業計画及び予算

(2) 事業報告及び決算の承認

(3) 規約の制定・改廃

(4) 役員の承認

(5) 常任委員会において制定または改廃された細則の承認

但し、議事内容については、総会の 3 日以上前に全会員に通知しなければならない。

第 11 章 常任委員会

第 26 条 常任委員会は、本部役員をもって構成し、次のことを行う。尚、他の会員は当委員会に出席して意見を述べるができる。但し、出席した他の会員の常任委員会における議決権については認められない。

1. 本会の運営全般に関する協議。

2. 総会に提出する案件の審議、報告書の作成。

3. 細則の制定または改廃。

第12章 専門部会および新旧役員連絡会

第27条 本会に必要な活動を行うために、本部役員は次の専門部を置くことができる。

1. 広報部 会報を発行する。
2. 校外活動部 児童の校外生活の安全を図る。
3. 役員選出部 本部役員の選出に関する事務を行う。
4. ベルマーク部 ベルマークに関する事務を行う。

第28条 各専門部員は本部役員が会員よりボランティアを募り選任する。

第29条 各専門部の部長は、副会長がその任に当たる。

第30条 各専門部員の任期は1年とし、当年度新旧役員連絡会から次年度新旧役員連絡会までとする。但し再任は妨げない。

1. 新旧役員連絡会は、各部員が選出された後、速やかに招集され、各部ごとに開くものとする。
2. 新旧役員連絡会は、本部役員、前年度部員、当年度部員をもって構成し、次のことを行う。
 - ・本部役員による、本会活動を行う上での注意事項の説明。
 - ・旧部員から新部員への活動内容の引継ぎ。

第13章 本部役員の選出

第31条 本会の本部役員の選出にあたり、本部役員は、役員選出部を置くことができる。これらの構成および運営については細則で定める。

第14章 規約改正

第32条 この規約は、成立要件を満たした総会にて審議され、総会表決書の提出者または出席の3分の2以上の同意により、改廃することができる。

第15章 付則

第33条 校長はすべての会議に出席し意見を述べるることができる。

第34条 弔事については細則で定める。

第35条 本会の活動を円滑に行うため、教職員、本部役員および各部の部員を除く会員は、本部および各部の補佐的活動を担うものとする。これらの構成および運営については細則で定める。

第36条 本会の運営に必要な細則は、この規約に反しない限りにおいて、常任委員会の議決で定めることができる。

第37条 この規約は、以下の日付に一部改正施行。

- ・昭和43年4月20日
- ・昭和47年5月13日
- ・昭和48年3月20日

- 昭和 55 年 5 月 16 日
- 昭和 62 年 1 月 17 日
- 平成 11 年 5 月 24 日
- 平成 12 年 5 月 19 日
- 平成 14 年 5 月 17 日
- 平成 15 年 11 月 5 日
- 平成 19 年 5 月 10 日
- 平成 25 年 4 月 1 日
- 令和 3 年 4 月 28 日
- 令和 3 年 12 月 15 日
- 令和 5 年 1 月 25 日

「上ノ原小学校PTA規約」の改正（案）新旧対照表

※変更部分を赤字で表記

| 旧 | | | 新 | | |
|-------|-----|---|-------|------|---|
| 第1章名称 | 第1条 | 本会は上ノ原小学校 PTA と称し、事務所を上ノ原小学校内に置く。 | 第1章名称 | 第1条 | 本会は上ノ原小学校 PTA と称し、事務所を上ノ原小学校内に置く。 |
| 第2章目的 | 第2条 | 本会は、保護者と教職員が協力して学校、家庭及び地域社会における児童のすこやかな成長を図ることを目的とし、主体的に活動する。 | 第2章目的 | 第2条 | 本会は、保護者と教職員が協力して学校、家庭及び地域社会における児童のすこやかな成長を図ることを目的とし、主体的に活動する。 |
| 第3章方針 | 第3条 | 本会は教育を本旨とする民主団体として、次の方針に従って活動する。 1. 特定の政党宗派にかたよることなく、また営利的な行為は一切行わない。 2. 本会または本会役員の名でどんな営利的企業をも支持しないし、また他のどんな職務（公私を問わず）の候補者をも推薦しない。 3. 本会は自主独立のものであって、他のどんな団体または機関の支配や干渉をも受けない。 4. 児童、青少年の福利増進のために活動する他の団体および機関と協力する。 5. 本会は学校の管理や人事に干渉しない。 6. この会の活動を推進するために必要とされる個人情報の取り扱いや利用、管理については、「個人情報取り扱いに関する細則」に定め、適正に運用するものとする。 | 第3章方針 | 第3条 | 本会は教育を本旨とする民主団体として、次の方針に従って活動する。 1. 特定の政党宗派にかたよることなく、また営利的な行為は一切行わない。 2. 本会または本会役員の名でどんな営利的企業をも支持しないし、また他のどんな職務（公私を問わず）の候補者をも推薦しない。 3. 本会は自主独立のものであって、他のどんな団体または機関の支配や干渉をも受けない。 4. 児童、青少年の福利増進のために活動する他の団体および機関と協力する。 5. 本会は学校の管理や人事に干渉しない。 6. この会の活動を推進するために必要とされる個人情報の取り扱いや利用、管理については、「個人情報取り扱いに関する細則」に定め、適正に運用するものとする。 |
| | | | 第4章活動 | 第4条 | 本会は、上記第2条の目的を達成するため、次の活動を行う。 1. 学校教育に対する理解と協力。（学校の支援） 2. 児童の福利・厚生・安全環境の整備および、向上。（見守り・安全） 3. 家庭、地域、学校の連携による教育活動の促進。（地域とともにある学校づくり） 4. その他、目的を達成するために必要な活動。（創出型事業） |
| | | | | 第5条 | 本会の活動は、原則として総会や常任委員会で協議された事項に基づき、会員からボランティアを募って主体的に活動する。すべての活動は、会員相互の支え合いによって成り立つ。 |
| 第4章会員 | 第4条 | 本会の会員について、次のとおり定める。 1. 上ノ原小学校に在籍する児童の保護者および上ノ原小学校に勤務する教職員は、会員になる資格を有し、入会の意思表示と共に会員となる。 2. 会員は、在籍児童の卒業により自動的に退会となる。 3. 会員より退会の申し出があった場合は、それを妨げない。 | 第5章会員 | 第6条 | 本会の会員について、次のとおり定める。 1. 上ノ原小学校に在籍する児童の保護者および上ノ原小学校に勤務する教職員は、会員になる資格を有し、入会の意思表示と共に会員となる。 2. 会員は、 第1項に定める会員資格を喪失することにより自動的に退会となる。 3. 会員は、いつでも本会を退会することができる。 |
| | 第5条 | 会員は、すべて平等の権利と義務を有する。 | | 第7条 | 会員は、総会で意思表示をする権利を有し、目的と方針に従い、会員相互の支え合いによる主体的なボランティアとして活動する。 |
| | 第6条 | 会員は、会費を納めるものとする。但し、事情により減免することができる。 | | 第8条 | 会員は、総会の定めるところに従い、 毎年会費を納めるものとする。但し、事情により減免することができる。 |
| 第5章経理 | 第7条 | 本会の活動に要する経費は、会費、寄付金およびその他の収入によって支弁される。 | 第6章経理 | 第9条 | 本会の活動に要する経費は、会費、寄付金およびその他の収入によって支弁される。 |
| | 第8条 | 本会の会費は、一家庭単位で納入する。 | | 第10条 | 本会の会費は、一家庭単位で納入する。 |
| | 第9条 | 本会の経費は、すべて総会で認められた予算に基づいて行われる。 | | 第11条 | 本会の経費は、すべて総会で認められた予算に基づいて行われる。 |

| | | | | | |
|----------|------|---|----------|------|---|
| | 第10条 | 本会の経理は、会計監査を経て総会に報告されなければならない。 | | 第12条 | 本会の経理は、会計監査を経て総会に報告されなければならない。 |
| | 第11条 | 本会の会計年度は、4月1日から翌年3月31日までとする。 | | 第13条 | 本会の会計年度は、4月1日から翌年3月31日までとする。 |
| 第6章本部役員 | 第12条 | 本会の本部役員は、次のとおりとする。会長1名、副会長4名以上（内1名副校長）、書記4名以上（内1名教職員）、会計4名以上（内1名教職員）。 | 第7章本部役員 | 第14条 | 本会の本部役員は、次のとおりとする。会長1名、副会長4名以上（内1名副校長）、書記4名以上（内1名教職員）、会計4名以上（内1名教職員）。ICT担当3名以上（内1名教職員） |
| | 第13条 | 本部役員の任期は、次のとおりとする。 1. 総会での承認を以て就任し、任期は当年度総会から次年度総会までとする。 2. 引継ぎ等を考慮し、活動開始は前年度3月からとする。 3. 会計の再任は不可とし、他の本部役員の再任は妨げない。 | | 第15条 | 本部役員の任期は、次のとおりとする。 1. 定期総会での承認を以て就任し、任期は当年度定期総会から次年度定期総会までとする。 2. 引継ぎ等を考慮し、活動開始は前年度3月からとする。 3. 会計の再任は不可とし、他の本部役員の再任は妨げない。 |
| | 第14条 | 本部役員に欠員を生じたときは、常任委員会で選出し、任期は前任者の残任期間とする。 | | 第16条 | 本部役員に欠員を生じたときは、常任委員会で選出し、任期は前任者の残任期間とする。 |
| | 第15条 | 本部役員は、次の職務を行う。 1. 会長は、本会を代表し会務を総括する。総会、常任委員会等を招集する。 2. 副会長は、会長を補佐し、会長不在の時はその代理をつとめる。 3. 削除 4. 削除 5. 書記は、総会、常任委員会等の議事を記録、保管し、書類等を作成する。 6. 会計は、学校給食の監査、本会の金銭の出納を管理する。総会において会計監査の監査を経た決算報告をする。 | | 第17条 | 本部役員は、次の職務を行う。 1. 会長は、本会を代表し会務を総括する。総会、常任委員会等を招集する。 2. 副会長は、会長を補佐し、会長不在の時はその代理をつとめる。 3. 書記は、総会、常任委員会等の議事を記録、保管し、書類等を作成する。 4. 会計は、学校給食の監査、本会の金銭の出納を管理する。総会において会計監査の監査を経た決算報告をする。 |
| 第7章会計監査員 | 第16条 | 本会の経理を監査するため3～4名（内1名は教職員）の会計監査員を置く。会計監査員は、前年度の会計がその任に当たる。 | 第8章会計監査員 | 第18条 | 本会の経理を監査するため3～4名（内1名は教職員）の会計監査員を置く。会計監査員は、前年度の会計がその任に当たる。 |
| | 第17条 | 会計監査員の任期は1年とする。 | | 第19条 | 会計監査員の任期は、当年度定期総会から次年度定期総会までとする。 |
| | 第18条 | 会計監査員は、決算の監査をすると共に、随時経理を監査することができる。 | | 第20条 | 会計監査員は、決算の監査をすると共に、随時経理を監査することができる。 |
| 第8章会議 | 第19条 | 本会の会議は次のとおりとする。 1. 総会 2. 常任委員会 3. 臨時委員会 | 第9章会議 | 第21条 | 本会の会議は次のとおりとする。 1. 総会 2. 常任委員会 3. 臨時委員会 |
| | 第20条 | 本会は、必要により臨時委員会を置くことができる。その任務および構成は、常任委員会において定める。 | | 第22条 | 本会は、必要により臨時委員会を置くことができる。その任務および構成は、常任委員会において定める。 |
| | 第21条 | 総会を除く他の会議は、構成員の過半数の出席をもって成立し、議決は多数決による。 | | 第23条 | 総会を除く他の会議は、構成員の過半数の出席をもって成立し、議決は出席構成員の多数決による。 |
| 第9章総会 | 第22条 | 総会は最高の議決機関であって次のとおりとする。 1. 定期総会 ・会計監査を経た会計報告の承認。 ・年間計画ならびに年度予算の審議決定、その他必要事項の審議決定。 2. 臨時総会 ・必要により開催する。 | 第10章総会 | 第24条 | 総会は最高の議決機関であって次のとおりとする。 1. 定期総会 ・定期総会は毎年1回を定例とし会長が招集する。 2. 臨時総会 ・臨時総会は、常任委員会が必要と認めた時、または全会員の5分の1以上の要求があったときに開催する。 |

| | | | | | |
|--------------------|------|--|--------------------|------|--|
| | 第23条 | 総会は家庭数の5分の1（委任状を含む）以上の出席をもって成立し、出席不能の場合は委任することができる。議決は出席者の多数決による。 | | 第25条 | 総会の形式と成立要件、議事は次のとおりとする。 1. 形式 ・総会審議は書面（電磁的記録媒体を含む）によるものとする。但し、会員の出席が必要と会長が認めた時は集会形式とする。 2. 成立要件 ・総会は全会員の2分の1以上の表決書の提出または出席があった場合に成立する。但し集会形式の場合は、委任状を認める。 3. 議事 ・総会の議事は、表決書の提出者または出席者の過半数をもって決定し、賛否同数の時は議長が決定する。 4. 総会では次の事項を審議、決定する。 （1）事業計画及び予算 （2）事業報告及び決算の承認 （3）規約の制定・改廃 （4）役員承認 （5）常任委員会において制定または改廃された細則の承認 但し、議事内容については、総会の3日以上前に全会員に通知しなければならない。 |
| 第10章常任委員会 | 第24条 | 削除 | 第11章常任委員会 | | |
| | 第25条 | 削除 | | | |
| | 第26条 | 常任委員会は本部役員をもって構成し、次のことを行う。尚、他の会員は当委員会に出席して意見を述べることはできない。但し、議決権については認められない。 1. 本会の運営全般に関する協議。 2. 総会に提出する案件の審議、報告書の作成。 | | 第26条 | 常任委員会は本部役員をもって構成し、次のことを行う。尚、他の会員は当委員会に出席して意見を述べることはできない。但し、議決権については認められない。 1. 本会の運営全般に関する協議。 2. 総会に提出する案件の審議、報告書の作成。 3. 細則の制定または改廃。 |
| | 第27条 | 削除 | | 第27条 | 削除 |
| 第11章専門部会および新旧役員連絡会 | 第28条 | 削除 | 第12章専門部会および新旧役員連絡会 | 第28条 | 削除 |
| | 第29条 | 本会に必要な活動を行うために、次の専門部を置くことができる。 1. 広報部 啓報を発行する。 2. 校外活動部 児童の校外生活の安全を図る。 3. 役員選出部 本部役員の選出に関する事務を行う。 4. ベルマーク部 ベルマークに関する事務を行う。 | | 第27条 | 本会に必要な活動を行うために、 本部役員は 、次の専門部を置くことができる。 1. 広報部 啓報を発行する。 2. 校外活動部 児童の校外生活の安全を図る。 3. 役員選出部 本部役員の選出に関する事務を行う。 4. ベルマーク部 ベルマークに関する事務を行う。 |
| | 第30条 | 各専門部員は会員より選出する。 | | 第28条 | 各専門部員は本部役員が 会員よりボランティアを募り選任する 。 |
| | 第31条 | 各部の部長は、副会長がその任に当たる。 | | 第29条 | 各部の部長は、副会長がその任に当たる。 |
| | 第32条 | 各部員の任期は1年とし、当年度新旧役員連絡会から次年度新旧役員連絡会までとする。但し再任は妨げない。 1. 新旧役員連絡会は、各部員が選出された後、速やかに招集され、各部ごとに開くものとする。 2. 新旧役員連絡会は、本部役員、前年度部員、当年度部員をもって構成し、次のことを行う。 ・本部役員による、本会活動を行う上での注意事項の説明。 ・旧部員から新部員への活動内容の引継ぎ。 | | 第30条 | 各部員の任期は1年とし、当年度新旧役員連絡会から次年度新旧役員連絡会までとする。但し再任は妨げない。 1. 新旧役員連絡会は、各部員が選出された後、速やかに招集され、各部ごとに開くものとする。 2. 新旧役員連絡会は、本部役員、前年度部員、当年度部員をもって構成し、次のことを行う。 ・本部役員による、本会活動を行う上での注意事項の説明。 ・旧部員から新部員への活動内容の引継ぎ。 |
| 第12章本部役員選出 | 第33条 | 本会の本部役員選出にあたっては役員選出部を置く。これらの構成および運営については細則で定める。 | 第13章本部役員選出 | 第31条 | 本会の本部役員選出にあたり、 本部役員は 、役員選出部を置くことができる。これらの構成および運営については細則で定める。 |

| | | | | | |
|----------|------|--|----------|------|--|
| 第13章規約改正 | 第34条 | この規約は総会出席者の3分の2以上の同意により、改廃することができる。 | 第14章規約改正 | 第32条 | この規約は、成立要件を満たした総会にて審議され、総会表決書の提出者または出席の3分の2以上の同意により、改廃することができる。 |
| 第14章付則 | 第35条 | 校長はすべての会議に出席し意見を述べることができる。 | 第15章付則 | 第33条 | 校長はすべての会議に出席し意見を述べることができる。 |
| | 第36条 | 吊事については細則で定める。 | | 第34条 | 吊事については細則で定める。 |
| | 第37条 | 本会の活動を円滑に行うため、教職員、本部役員、および各部の部員を除く会員は、本部および各部の補佐的活動を担うものとする。これらの構成および運営については細則で定める。 | | 第35条 | 本会の活動を円滑に行うため、教職員、本部役員、および各部の部員を除く会員は、本部および各部の補佐的活動を担うものとする。これらの構成および運営については細則で定める。 |
| | 第38条 | この会の運営に必要な細則は、この規約に反しない限りにおいて、常任委員会の議決で定めることができる。 | | 第36条 | この会の運営に必要な細則は、この規約に反しない限りにおいて、常任委員会の議決で定めることができる。 |
| | 第39条 | この規約は、以下の日付に一部改正施行。 <ul style="list-style-type: none"> ・昭和43年4月20日 ・昭和47年5月13日 ・昭和48年3月20日 ・昭和55年5月16日 ・昭和62年1月17日 ・平成11年5月24日 ・平成12年5月19日 ・平成14年5月17日 ・平成15年11月5日 ・平成19年5月10日 ・平成25年4月1日 ・令和3年4月28日 ・令和3年12月15日 | | 第37条 | この規約は、以下の日付に一部改正施行。 <ul style="list-style-type: none"> ・昭和43年4月20日 ・昭和47年5月13日 ・昭和48年3月20日 ・昭和55年5月16日 ・昭和62年1月17日 ・平成11年5月24日 ・平成12年5月19日 ・平成14年5月17日 ・平成15年11月5日 ・平成19年5月10日 ・平成25年4月1日 ・令和3年4月28日 ・令和3年12月15日 ・令和5年1月25日 |